

岩国小学校だより

令和4年(2022年)2月28日

3月号

岩国市立岩国小学校

学校周辺の木々が花を咲かせ、日増しに春の訪れを感じさせてくれています。それと同時に6年生の卒業が近づいてきました。

小学校生活6年間でマラソンにたとえるなら、すでに42km以上を走り終え、残り195mとなり、競技場のゴールテープが目に見えてきたところでしょう。長かった小学校生活のゴールは目前です。

さて、「有終の美」という言葉があります。「詩経」という中国の古い書物から引用された言葉で、「何事も始めることはたやすいが、最後までやりきることは難しい」ことから、最後まで立派にやり遂げたことを讃える言葉として、「有終の美を飾る」という形で使われています。マラソン競技で、42.195kmを完走しゴールテープを切る瞬間は、見ている私たちも感動するほど美しいものがあります。この瞬間があるからこそ、苦しい道のりを耐えて走ることができるのかもしれませんが、マラソンも走り始めることは簡単ですが、最後まで走りきることは、タイムに関係なく、それだけでも価値のあることであり、ゴールの瞬間は、まさに「有終の美」だと思います。

でも、もしこれがゴール直前の42.194kmで走るのをやめてしまったとしたらどうでしょう。最後まで完走した人とは、「たった1m」の違いです。しかし、この「たった1m」の違いは大きなもので、「たった1mの違いだから、完走した人と同じ価値がある」とは、なかなか思ってもらえないものです。あと1mなのに、なぜやめてしまったのだろうと残念に思う人の方がおそらく多いことでしょう。

子どもたちは、小学校入学から卒業までの6年間で、1200日あまりを学校で過ごします。岩国小学校の147名の6年生は、今日まで様々な場面で本当に一生懸命がんばってきました。岩国小学校の歴史に立派な足跡を残してくれたと思います。小学校生活もゴールまであと18日です。6年生はこの18日間を、今まで以上に大切に過ごしてください。そして、3月18日の卒業式を終えて、この小学校を巣立つまで立派に走りきり、有終の美を飾ってほしいと願っています。

環境保全学習(6年生)

生活の中にたくさんある桜に気付き、種類や開花の仕組みなど植物であるサクラの特徴を知るとともに、日本の桜の名所百選にも選ばれている吉香公園や錦帯橋のある郷土への誇りも感じる事ができたのではないのでしょうか。6年生の門出をお祝いするため、3月18日の卒業式に合わせて、本年度も桜の人口開花に挑戦していただきます。

また、授業と並行して校庭に24本あるソメイヨシノの剪定・施肥作業も行っていました。もうすぐそこに来ている春に、美しい花を咲かせてくれることと思います。(2月24日現在、錦帯橋周辺の桜の開花予想日は3月31日、満開予想日は4月7日です。)

2月9日(水)に、岩国市公園景観課と「みどりを守り育てるネットワーク」の方々をお招きし、6年生を対象に、岩国市の市花である桜について知見を広げるリモート授業を実施しました。身近な



